



舞踏家・雪雄子による 身体表現ワークショップ

雪雄子（1950年生、青森県在住の女性舞踊家）を講師として、自らのカラダを見つめなおすワークショップを二日間行います。講師の指導によって自ら動き、人の動きを見ることで、自分の身体を開放し、より豊かな身体感覚を養い、有効な身体表現を学ぶ実践的講座を実施します。個人の中に湧き出した教養の湧水はやがて大河となって豊かな人生を形成します。「教養の一貫教育」は、高校／大学間で途切れることのない教養教育を目指すプロジェクトです。

2019.11.26（火）・27（水） 15:30～17:30（両日）
慶應義塾大学日吉キャンパス 日吉協育ホール

対象 塾生（大学生、大学院生、一貫教育校生）、教職員

参加定員 30名（最大）申し込み制

見学 塾生・教職員の見学は自由です

申込方法 以下のURLよりお申し込みください。申込者多数の場合選考を行い、10月末日までに結果をお知らせいたします。



<https://business.form-mailer.jp/fms/25135ea91110296>

申込締切 2019年10月31日（木）

本企画は録画され教養研究目的に限って利用されることがあります。

Tシャツ・ジャージなど体を動かしやすい服装で参加してください。更衣室を用意します。

主催：慶應義塾大学教養研究センター／（担当）小菅単人（慶應義塾大学教養研究センター所長）

共催：慶應義塾高等学校／（担当）古川晴彦（慶應義塾高等学校国語科教諭）

お問い合わせ：toiawase-lib@adst.keio.ac.jp

白鳥がくるよー。
白鳥が帰るよー。

私の暮らす、岩木山麓の谷間に風が吹きすさぶ。雪が降りはじめ、ゆっくりと降り積もる。11月、結氷した沼地に白鳥たちがやってくる。まるで神の翼が舞い降りたかのように——。3月、白く白い宇宙交響を沼地に遺し極北へと旅立つ。

——私の内部に育った白鳥も、共に。

なつかしき響きの宇宙へ！

いざ！ 極北へ！

朋たちよ、生き生きとした舞踏言語へ空間を創ろうよ！

スピリトウス・霊

B U T O H

W O R K S H O P

舞踏言語 アニマ・アニメ

雪雄子

y u k i y u k o



雪雄子舞踏ワークショップ

2019.11.26 [火]・27 [水]

15:30 → 17:30



PROFILE

1950年東京生まれ。1972年土方巽「庖瘡譚」を觀て衝撃を受ける。'72 大駱駝艦創設に参加後、北方舞踏派と共に出羽三山麓へ移住。小樽での10年の活動後、'84 土方巽演出振り付け「鷹ざしき」で女鷹を舞う。'93 独り津軽へ移住。原初の命に出会う。「風の誕生」(青森公立大学)、「二万年王国」(映画出演)、「縄文頌」(京都国際文化研究センター)、「'98 カリヨンの庭—三つの風の物語」(宮城県美術館)、「'05 ウィーン、パリ、ワルシャワ公演」,'06 大野一雄フェスに出演、「'08 「復活」,'09 「縄文大祭」(三内丸山遺跡)、2010年吉増剛造と「拈花瞬目」(gozocciné 所収)、「'10 より毎夏、原始感覚美術祭にて公演とWS、'17 「身体に還る日」、土方巽記念秋田舞踏会「病める舞姫」構成、演出、振り付け。'18 慶應義塾大学新入生歓迎行事「秘光」、'20 シアターXにて「白鳥の帰る日」(予定)。

白鳥の帰る日